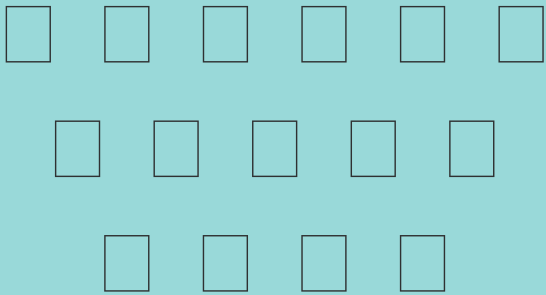
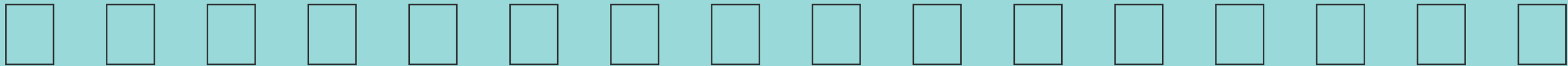


地域医療の魅力を発見し



□ □ □ □ **COI** □ □

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

COI □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

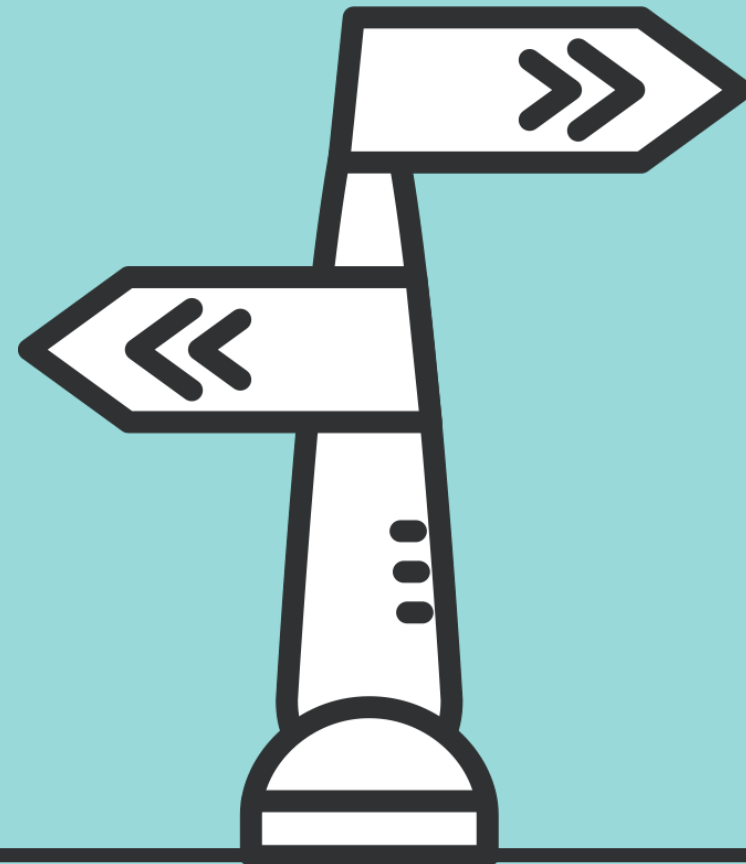
01 □ □ □ □

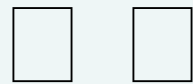
02 □ □ □ □ □ □

03 □ □ □ □ □ □ □

MY HISTORY

01

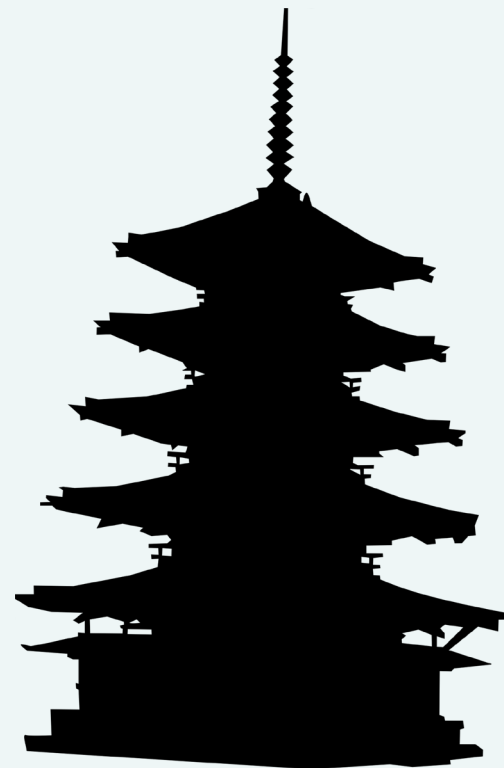




1989□



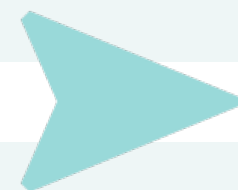
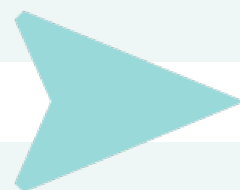
2010□



2016□



2022□



三重県





OUR STAFF

02

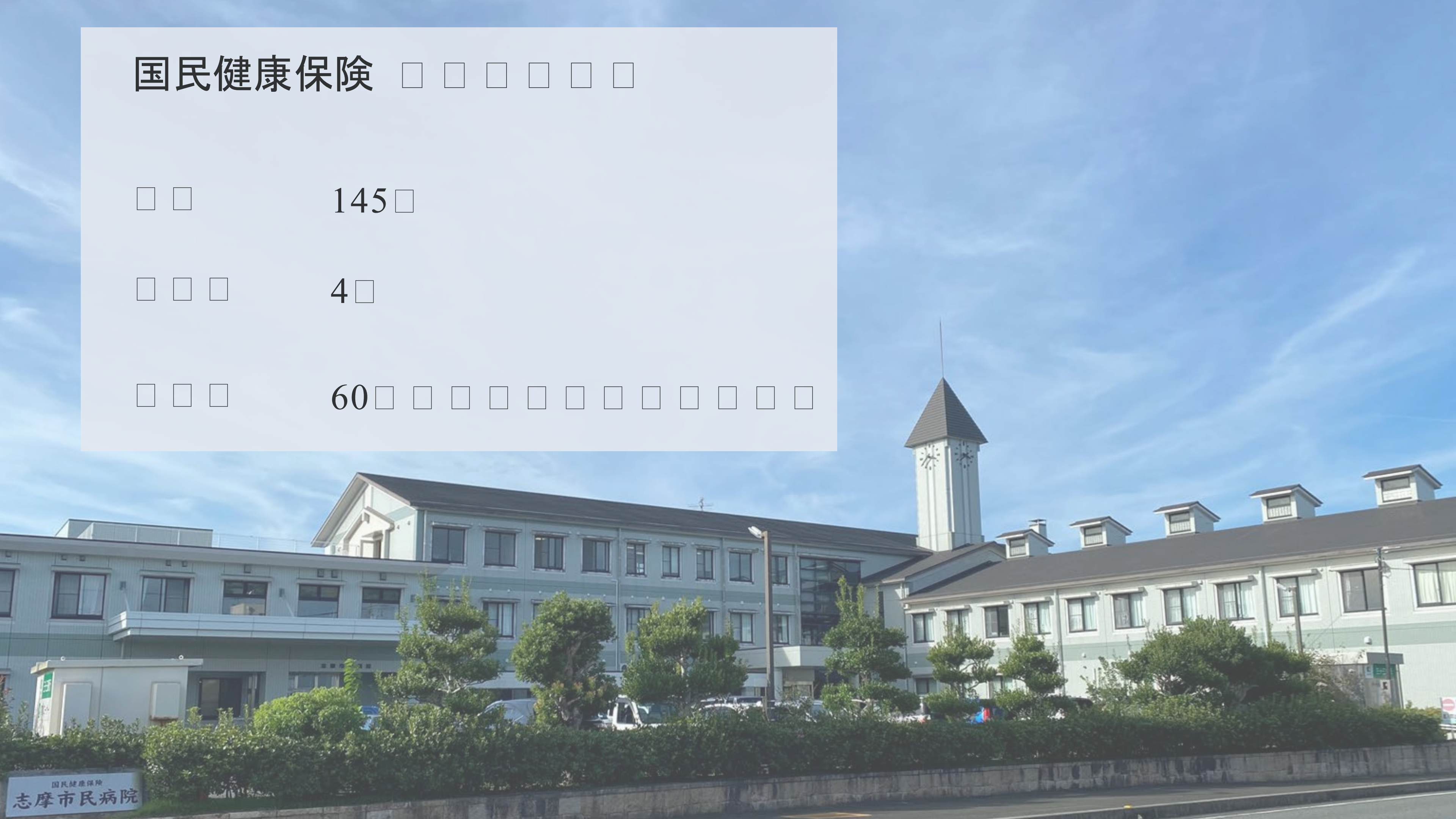


国民健康保険 □ □ □ □ □ □

□ □ 145 □

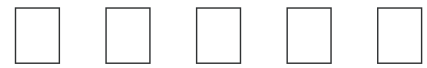
□ □ □ 4 □

□ □ □ 60 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

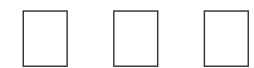
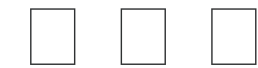


A group of five men standing outdoors on a sandy area, possibly a beach, under a bright, cloudy sky. They are all wearing lab coats. From left to right: the first man is in a white lab coat over a black shirt and dark pants, looking up; the second man is in a dark green lab coat over a dark shirt and dark shorts, with his arms crossed; the third man is in a white lab coat over a black shirt and light-colored pants, looking forward; the fourth man is in a dark green lab coat over a dark shirt and light-colored shorts, looking forward; the fifth man is in a white lab coat over a black shirt and dark pants, looking up. The background shows some buildings and trees in the distance.

世界平和を実現できると信じている



-





宇治徳洲会病院

救急総合診療科

473床(急性期)

10階＋地下1階

内科,呼吸器内科,消化器内科,肝臓内科,糖尿病・内分泌内科,脳神経内科,心臓血管内科,人工透析

内科,血液内科,小児科,外科,消化器外科,肝・胆・膵外科,こう門外科,呼吸器外科,小児外科,乳腺外

科,整形外科,形成外科,脳神経外科,心臓血管外科,泌尿器科,耳鼻いんこう科,皮膚科,眼科,産婦人科,

放射線診断科,放射線治療科,ペインクリニック・疼痛緩和外科,緩和ケア内科,麻酔科,歯科口腔外

科,リハビリテーション科,救急科(救急総合診療科),病理診断科



志摩市民病院

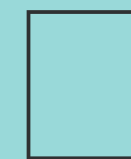
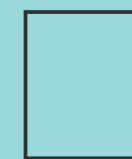
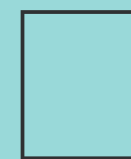
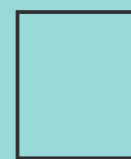
総合診療科

60床(地域包括ケア＋療養)

3階

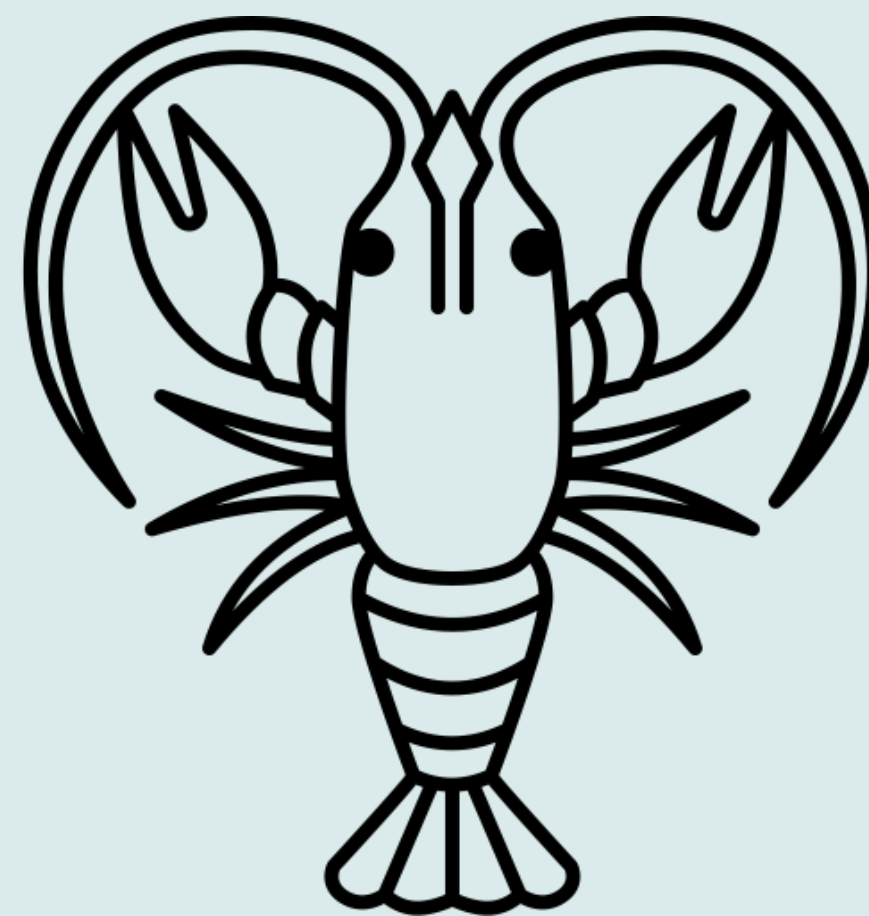
総合診療科

03

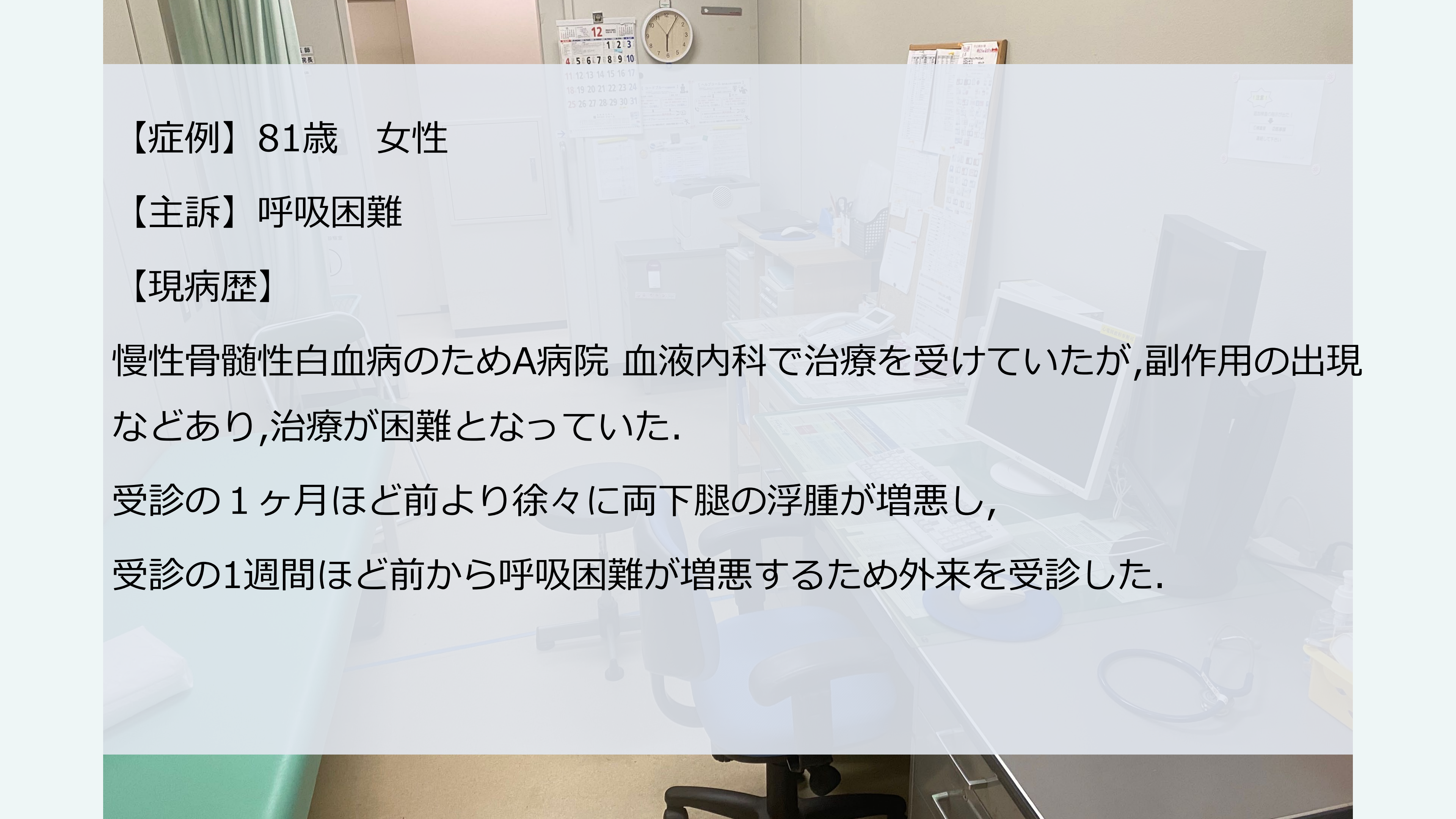




訪問診療



まつり



【症例】 81歳 女性

【主訴】 呼吸困難

【現病歴】

慢性骨髄性白血病のためA病院 血液内科で治療を受けていたが,副作用の出現
などあり,治療が困難となっていた.

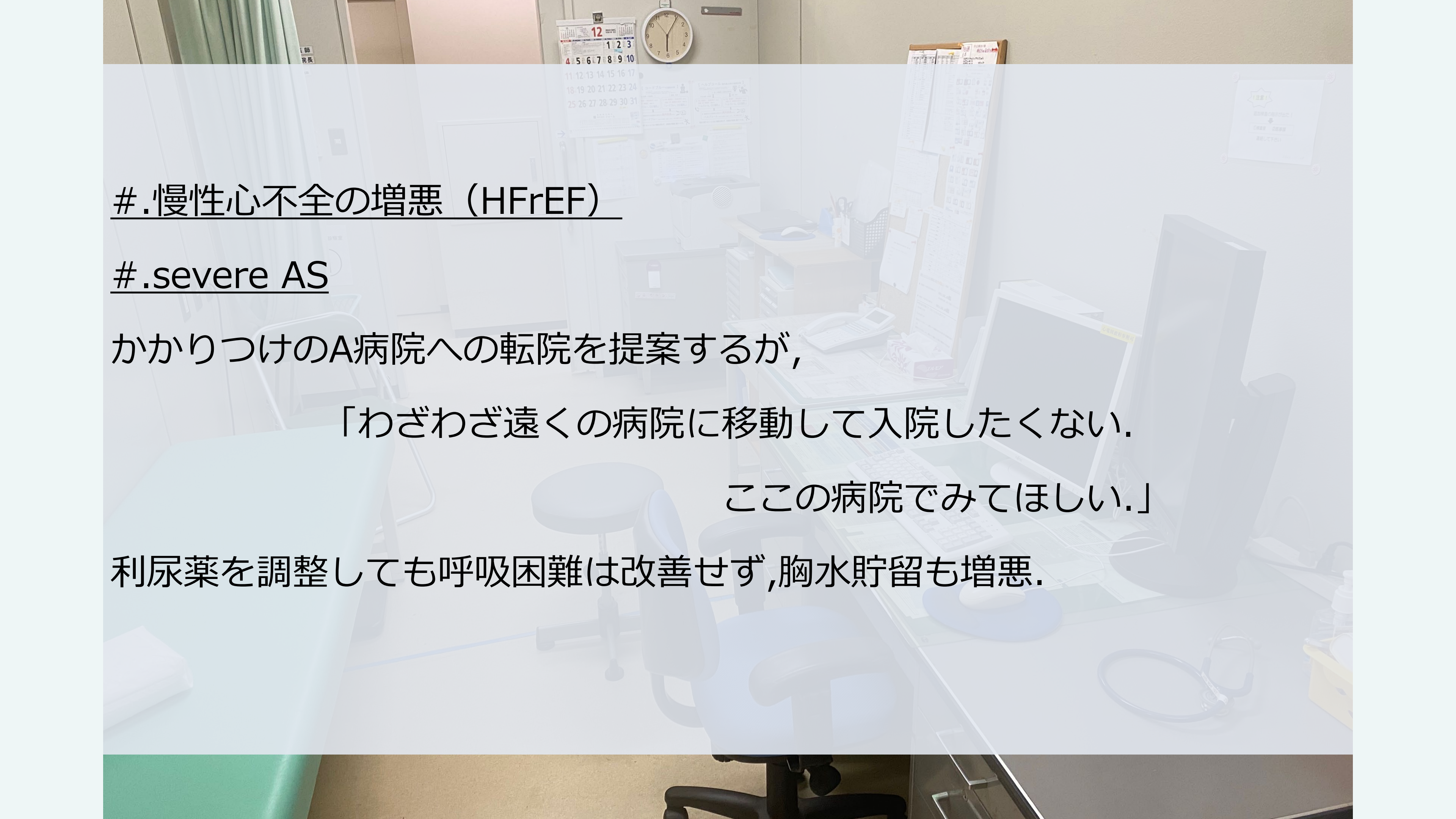
受診の1ヶ月ほど前より徐々に両下腿の浮腫が増悪し,
受診の1週間ほど前から呼吸困難が増悪するため外来を受診した.

【既往歴】

慢性骨髄性白血病（H16診断）,くすぶり型多発性骨髄腫,
腰椎圧迫骨折,両側変形性股関節症(人工関節置換術後),
慢性心不全

かかりつけ：A病院（急性期 自宅より車で約1時間）

血液内科,整形外科



#.慢性心不全の増悪（HFrEF）

#.severe AS

かかりつけのA病院への転院を提案するが、

「わざわざ遠くの病院に移動して入院したくない。

ここの病院でみてほしい。」

利尿薬を調整しても呼吸困難は改善せず、胸水貯留も増悪。

day10

胸腔穿刺にて胸水1.5L排液

day11

再確認するもかかりつけへの転院は希望されない.むしろ治療ではなく,緩和を望まれた.また自宅で最期を迎えたいと希望され,準備を開始

day12

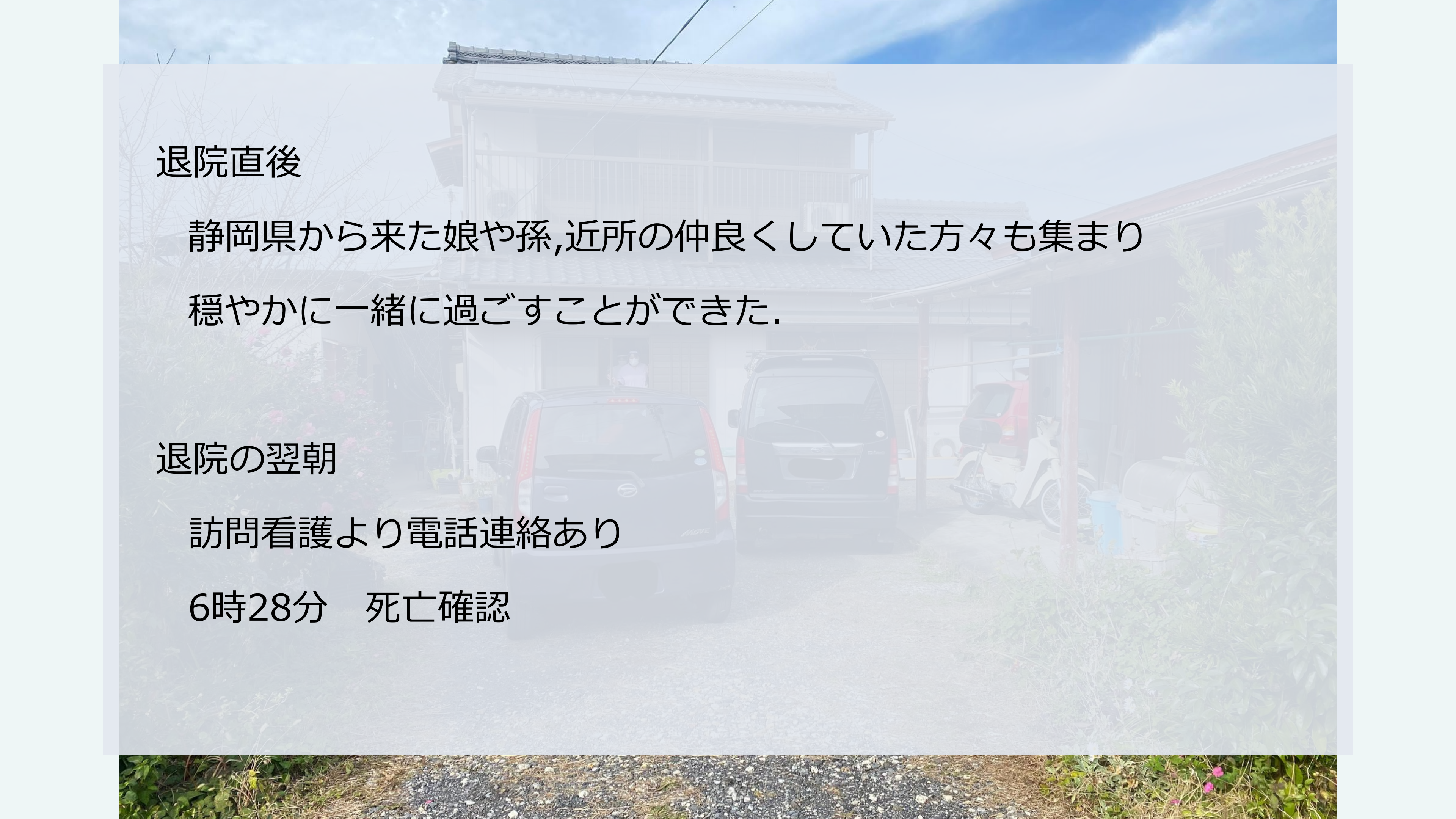
誤嚥性肺炎をきっかけに呼吸状態は急激に悪化

day14

午前 意識状態も悪化し,下顎呼吸となった.

午後 自宅退院





退院直後

静岡県から来た娘や孫,近所の仲良くしていた方々も集まり
穏やかに一緒に過ごすことができた.

退院の翌朝

訪問看護より電話連絡あり

6時28分 死亡確認

短期間で「自宅に帰りたい」を叶えられた.

⇒多職種連携がしやすく、小回りが利く.

外来、入院、在宅診療、看取りと一人の医師で完結

⇒患者,家族の気持ちや生活まで深く知り,介入.信頼関係にもつながる.

教科書にもネットでも調べられないことが学べる

「大きい病院の先生は聴診器も当ててくれない.パソコンばかり見ている。」



2021 □ □ □ □ □ □ □ □

医学科学生実習 19名

看護科学生実習 9名

リハビリ学生実習 17名

中・高校生実習 26名

大学生・社会人見学 36名

初期研修医 11名

後期研修医 0名







基本理念
「絶対に患者さんを守る」
志摩市民病院

志摩市民病院
第7回 病院まつり
あなたの心を虹色に

志摩市民病院
明
志摩市地域医療
江角悠太郎 医師

志摩市民病院
まつり
オンライン配信
1月20日(日)
9時~4時30分

